

平成 27 年度第 2 回浜松市創造都市推進会議 議事録

日 時：平成 28 年 3 月 17 日（木）午後 3 時 00 分～午後 5 時 09 分

場 所：浜松市役所本館 5 階 庁議室

出席者：根本敏行会長、山下文彦副会長、和久田明弘委員、杵屋英夫委員、山名裕監事

欠席者：桧森隆一委員、佐藤洋一委員（代理出席：山下智久商業振興担当課長）、海野敏夫監事

（オブザーバー）

中村公彦創造都市推進担当課長、石塚良明国際課長、森田孔二文化政策課長、鈴木和彦観光・シティプロモーション課長（代理出席：加藤智春観光・シティプロモーション課長補佐）、欠席：瀧下且元産業振興課長

報道関係：2 人（中日新聞社×1、静岡新聞社×1）

事務局：中村公彦創造都市推進担当課長、影山元紀副主幹、宮木広由副主幹、野寺彰子主任、外山裕太、佐藤佳澄（以上、文化政策課創造都市推進グループ）

鈴木三男文化政策課専門監、山田英二副主幹（産業振興課地域産業グループ）

1 開会

（事務局 宮木）

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から、平成 27 年度第 2 回浜松市創造都市推進会議をはじめさせていただきます。本日は、過半数を超える委員にご参加いただいておりますので、会議が成立していることを報告させていただきます。

次に、会議資料について確認いたします。

（事務局から配布資料確認）

それでは、ここからの進行は根本会長にお願いいたします。

2 議事

審議事項 1 中間支援組織等のあり方に関する研究について

（根本会長）

それでは、市と静岡文化芸術大学との中間支援組織等のありかたに関する共同研究について、私から説明させていただきます。

（資料 1「浜松市における中間支援組織等のあり方に関する研究」の内容および進捗状況、最終的な報告予定時期の説明）

(山下委員)

アーツカウンシルを中間支援組織と同じようにみなして良いのですか？

(根本会長)

文化芸術に関わる市民団体や民間団体を支援することが、アーツカウンシルの重要な業務です。したがって行政が自ら文化芸術活動を行うことを目的とはしません。現状では市民やNPO、産業セクターの文化芸術活動を公的に支援するしくみについて、アーツカウンシルという言葉が使用されています。それを踏まえると、アーツカウンシルを中間支援組織と同じではありませんが、似たような関係だと言えます。

(根本会長)

委員からの意見や質問については事務局でまとめてもらい、共同研究報告書に反映していきたいと思います。

(山下委員)

共同研究報告書のボリュームについてはどのくらいですか。

(根本会長)

白黒の両面印刷で40ページ程度を考えています。

審議事項2 平成28年度浜松市創造都市推進会議事業計画及び予算案について

(根本会長)

次に「平成28年度浜松市創造都市推進会議事業計画及び予算案について」事務局から説明をお願いします。

(事務局 宮木から資料2「平成28年度浜松市創造都市推進会議事業計画及び予算案について」の説明)

(根本会長)

創造都市浜松ウェブサイトのページビュー数(H27.4/1～H28.3.17で1921件)は決して多いとは言えないので、今後増やしていくための広報戦略をしっかりと考えてほしいです。

(根本会長)

この事業計画及び予算案でよろしいでしょうか。

(一同異議なし)

それでは、この事業計画及び予算案を了承いたします。

報告事項1 「世界創造都市フォーラム in 浜松 2015」及び「浜松楽器メイカーズフェスティバル」の開催報告について

(根本会長)

次に「世界創造都市フォーラム in 浜松 2015」及び「浜松楽器メイカーズフェスティバル」

の開催報告について事務局から説明をお願いします。

(事務局 影山から資料3「世界創造都市フォーラム in 浜松 2015」についての説明)

(事務局 山田から資料4「浜松楽器メイカーズフェスティバル」についての説明)

(特段の質問がなかったため、報告を終了した)

報告事項2 「世界音楽の祭典 in 浜松 2016」開催準備進捗状況について

(根本会長)

次に「世界音楽の祭典 in 浜松 2016」開催準備進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局 鈴木から資料5「世界音楽の祭典 in 浜松 2016」についての説明)

(根本会長)

基本的に交流コンサート部会が中心的に動くということによろしいですか。

(事務局 鈴木)

交流コンサート部会に加え、実行委員会も一緒になって開催します。現在、世界各国の加盟都市から、祭典へ派遣可能な音楽団体についての情報が集まってきているところです。その情報の取りまとめについては、実行委員会で行っていきます。

(根本会長)

世界音楽の祭典は文化の日で開催されるということで、他にも文化的なイベントが多数行われる時期です。他の音楽イベントや同日に行われる文芸大の学園祭などと部分的に結びつけて、より盛り上げていくのはどうでしょうか。

(事務局 鈴木)

祭典が開かれる月間を、他のイベントを含めて集中的に広報していく総合的戦略を現在、考えています。同時期に行われる大学や民間団体のイベントも総合的に宣伝できるような取り組みを考えていきたいと思えます。

(根本会長)

EUが行っている「欧州文化首都」という取り組みがあります。文化首都に選ばれた都市は、一年間かけて文化イベントをあちらこちらで行います。パンフレットやプログラムもイベント情報であふれ、その取り組み期間には観光客もその都市に多数訪れて盛り上がります。以前、佐々木先生が話していた、例えば「アジア文化首都」のような取り組みで、浜松市が文化首都となりそのような盛り上がり生まれると良いとおもいます。

報告事項3 音楽人材の育成について

次に音楽人材の育成について、事務局から説明をお願いします。

(事務局 宮木から資料6 音楽人材の育成についての説明)

(根本会長)

それでは今日の感想を含め、委員のみなさまから意見ををお願いします。

(和久田委員)

まず、中間支援組織については、研究成果を期待しています。私たちも現在、中間支援組織等の役割を担っているので、私たちの今後の業務についても参考にしたいです。あと、もう一つは音楽人材の育成ということで、浜松市で現在、開講しているアクトシティ音楽院のことについてお話したいと思います。現状では行政が人材育成について、どこまで関与するのか、そのあたりのバランスがはっきりと分らないです。才能ある人材は市が関与しなくても、自然と自分たちで世界へ羽ばたいていくもの。また、アマチュア音楽家なのかプロ音楽家を育てるのか、もしくはより良い聴衆を育てていくのか、そのあたりの方向性が見えてこないと思います。そういったことも踏まえて、人材育成についての議論を市としていきたいですし、市のほうでも施策を講じてほしいと考えています。

(根本会長)

地域に根ざした音楽ということでは、小澤征爾氏関わった「サイトウ・キネン・オーケストラ」が好例だと思うので、研究対象としてみてほしいと思います。

(空屋委員)

「浜松楽器メイカーズフェスティバル」は浜松市ならではのイベントで、他都市では真似の出来ないものでした。今後継続して開催すれば、いろいろな広がりが出てくると思います。また、次回以降は展示楽器に触れるような仕組みがあると、大人の楽器需要について、新しく掘り起こしが狙えるのではと思います。先日、テレビで観たのですが、プロサッカーでは地域ごとにスポーツのイノベーションを起こすことで、地域のにぎわいを創出しています。浜松でも同様に音楽のイノベーションを起こせばと思います。

(山名裕監事)

文化面と産業面をどのように音楽として融合すればよいのか、と考えながら、興味深く聞いていました。音楽人材の育成についても、産業と結びつける切り口があると、浜松らしさが生まれると思います。例えば浜松の各楽器メーカー社内には、それぞれ優秀な職人たちが働いています。演奏家とそのような職人たちとを技術的に結びつけることも必要なのではないかと思いました。産業と連携した音楽都市浜松市として総合的なアピールをしていけば、今までとは違う音楽の振興が図れるのではと感じます。

それから、もう一つ聞きたいのですが、来年予定している「世界音楽の祭典」について、入場は無料と有料どちらなのでしょう。

(事務局 影山)

基本的には有料になります。さらに各イベントについて、入場金額がそれぞれ変わります。ただし、まちなかで行われるイベントについては無料のものもあります。料金区分を

分けた設定を考えています。

(山名裕監事)

せっかくの機会なので、より多くの人たちが参加するイベントにしてほしいです。

(山下副会長)

市議会の中でも、中間支援組織と音楽人材の育成について関心があります。本日報告のあった「世界創造都市フォーラム in 浜松 2015」など、この3年間で創造都市に関するイベントを行っていますが、3年間のプログラム終了後に力尽きないように、2020年東京オリンピックもあるので、それに向けたプログラム等引き続き進めていってほしいです。また「世界創造都市フォーラム in 浜松 2015」について、より多くの人たちに知ってもらうように、ウェブなどを通じて結果報告を広く発信してほしいですが、事務局はどのように考えていますか。

(事務局 影山)

フォーラムについては報告書を冊子の形として、今年度中にまとめる予定です。電子データ版も作成するので、ウェブ上で掲載するように考えています。

(根本会長)

フォーラムに関心を持ってもらう広い入り口として、取り組んでいってほしいです。

(山下委員代理)

中間支援組織については山名さんも言っていたように、産業分野との連携を考えてもらいたいです。産業部には「イノベーション推進機構」もあります。そういったところとの連携を上手く行い、浜松らしい中間支援組織ができれば良いと思います。

(根本会長)

先ほども触れたが、「サイトウ・キネン・オーケストラ」や「欧州文化首都」など、参考になる事例があります。また、札幌市の中間支援組織の取組みには、産業部局が多く入りこんでいるのが特徴です。

3 その他

(特段の質問がなかったため、終了)

4 閉会

(根本会長)

それでは、予定していた内容は以上でございます。事務局にお返しいたします。

(事務局 宮木)

長時間に渡りご審議をしていただき、ありがとうございました。それでは、年度末最後の会議ということで、浜松市市民部文化政策課創造都市推進担当課長の中村から、ごあいさつをさせていただきます。

(中村公彦創造都市推進担当課長よりあいさつ～終了)